

(別紙4(2))

事業所名 : グループホームハピネス

作成日 : 令和 2 年 4 月 24 日

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点・課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4・6	事業所運営に際し、積極的に外部(第三者)からの意見・助言を取り入れる。	運営推進会議を活用し、事業所以外の意見・助言をもらい、より良いサービスの提供に努める。	身体拘束委員会を運営会議終了後に行い、第三者の意見・助言をとりいれて、独自の議事録を作成し、その内容の周知・徹底に努める。	2か月
2	〃	〃	〃	事故・ヒヤリ事例の情報を運営会議にて提示するとともに、対策案について第三者から意見・助言をもらう。	2か月
3	〃	〃	〃	知見者が参加する運営会議が実施できるように、選任は別事業所のグループホーム職員に依頼できないか、事業所間で調整を行う。	6か月
4	〃	〃	〃	運営推進会議委員が欠席した場合でも運営報告がわかるように議事録は委員全員に送付する。外部評価結果も提示する。	2か月
5	47	誤薬対策の周知・徹底を図る。	内服方法、手順を全スタッフが統一して行える。	管理マニュアルとは別に利用者一人ひとりに合わせた内服手順書を作成し、全スタッフへの周知・徹底を図る。	1か月

注) 項目の欄については、自己評価項目の番号を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。